

はぁもにい

はぁもにい第42号

- ・発行日 2015年4月10日
- ・発行 多機能型事業所ポプリ
生活介護事業部
- ・編集 機関誌「はぁもにい」
編集委員会
(0144) 87-3800

グループホーム「かい」開設！！

GH「かい」外観



GH「かい」居室



GH「かい」居間



平成27年4月1日、当法人白老宏友会 地域生活支援センターあぶろ 7棟目の24時間型共同生活住居のグループホーム「かい」がスタートしました。今回は平成26年度社会福祉施設整備事業に係る補助金を受けて建設されました。定員は共同生活援助入居6名、併設型短期入所1名。居室7室のオール電化設備の住宅です。利用に関しては、昨年12月の保護者説明会に始まり、単独型短期入所による利用体験、利用契約・個別支援計画の締結。27年3月には入居準備・荷物搬入等を経て新生活への開始と進めてまいりました。利用者構成はポプリ・みらいえに通所する、在宅利用者及び世話人通い型GHから移動される利用者です。新しい仲間と新しい暮らしが始まりますが、他ホーム共々宜しくお願い致します。

地域生活支援センター「あぶろ」管理者 田野島 靖

指定特定相談事業所「ゆから」開始！！

「ゆから」とはアイヌ語で「縁」を意味します。相談支援の業務を通じ利用者との縁を大切にしていきたいとの思いで命名しました。

障害者総合支援法では、障害福祉サービスを受けるにあたり、利用者にとってどのようなサービスが必要なのかを一緒に考え計画していくのが、指定相談支援事業所の主な業務です。福祉サービスは生活介護や就労支援、グループホームなど地域には様々な事業所があり、初めての方はどのように選んでよいか悩むことも、また今利用しているサービスが自分に合っていないのではと不安に思っている方など、定期的なモニタリングを通じ利用者の声に答えていきます。

指定特定相談事業所「ゆから」所長 北平 保

利用者スポットライト

今回は、ななかまど店舗の大人気商品であるチーズタルト・クッキーシューの製造に携わっている大塚謙太さんにスポットを当て特集を組みました。

多機能型事業所 ポプリ 就労継続B型 ななかまど配属 大塚 謙太さん特集

昨年10月8日に、「ベーカリーショップななかまど」がリニューアルオープンを迎え、店舗の外観、内装の改修工事を行い高機能窯が導入されました。高機能窯を使用して、焼き上げた新作の「チーズタルト」、「クッキーシュー」はお客様からも大人気で早くも注目を集めています。今回は、その「チーズタルト」のタルト生地製造と焼成作業を担当している大塚謙太さんの様子を紹介します。タルト生地製造では、生地を必要な大きさにカットし丸めてグラムを確認する等製造のほとんどを一人で行っています。焼成作業では、焼成機の使い方を説明しながら取り組み、開始当初は焼き色の調整に戸惑い失敗することもありましたが、諦めないで努力を続けてきたことで、今では自信をもって焼成作業を行えています。そんな大塚さんが携わっている「チーズタルト」は、中にはフワッとこだわりのチーズが入っており、外のタルト生地はサクッとして香ばしく大変美味しく仕上がっています。「ななかまど」にお立ち寄りの際は、是非一度ご賞味下さい！

多機能型事業所 ポプリ 山本 奨



成人者・還暦者の紹介

成人・還暦を迎えられた皆様の更なるご活躍を祈り、お礼を申し上げます。おめでとうございます。

愛泉園

八島 一生さん



ポプリ

上田 勇士さん



みらいえ

高木 将吾さん



松田 奈保子さん



北山 大吾さん



鷺見 拓哉さん



(3) 明実施設長挨拶

季節のうつろいの中で考えること

4月1日より生活介護事業所「愛泉園」ならびに「みらいえ」の施設長を兼務することと相成りました。非力な私がこの過大な責務を負うことには不安ばかりですが、スタッフの存在、共通した理解のもとこれを吹き飛ばしてくれるのではないかと感じています。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

ある本の中にこのようなことが書かれています。人類が始まって以来多数の宗教が存在し、それぞれが真であると信じています。最大に譲歩したうえで、1つが真であるとしたら他は虚偽であり、人類は愚かにもその虚偽の生活を営んできたというような内容です。これは価値観の違いが厳然として存在しており、この価値観の違いを受け入れられない世界は愚かしいということなのかなと思います。価値観を認め合うこと、とても大切なことであると感じます。

生活介護事業所「愛泉園」「みらいえ」兼務管理者 明実 昭市

* * * * * 多機能型事業所「ポプリ」 * * * * *

札幌 丸井今井きたキッチン販売初出店

札幌での外部販売活動は、事業所並びに店舗『ななかまど』の知名度を上げるため、宣伝活動及び、集客率、売上の向上を目的に平成25年度から取り組んでいる事業であり、この活動の背景には、就労活動の充実と、利用者の方の豊かな生活（工賃の向上）、それに伴う財源の確保を目指してきた経緯があります。また、これに限らず、少子高齢化、人口の減少が進む白老町の現状を踏まえ、町の活性化に繋げていく目的がありました。これまで外部販売で活動拠点としてきた札幌地下歩行空間では、契約会社の撤退により販売が出来なくなり、新たな販売先として3月10日（火）『丸井今井きたキッチン』にて初出店を行いました。今では看板製品になっている『よもぎあん餅』や『あんぱん、クロワッサン』を求め、開店前から30名程の常連客が待つ中販売を開始し、コンスタントに製品は売れ、結果、目標としていた35万円の売上げを達成することが出来ました。今後も利用者の方の豊かな生活を根底に定め、利用者主体の活気ある運営活動を目指していきます。

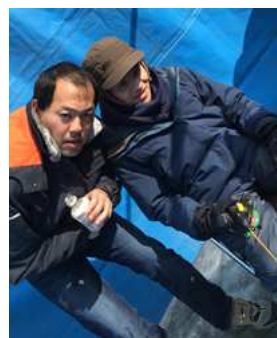
多機能型事業所「ポプリ」 支援課長 有城 雅章



外出活動「ワカサギ釣りin白老ポロト湖」

2月20日（金）生活介護事業部では、白老ポロト湖にワカサギ釣りに行きました。氷の上を歩くことや、釣りをすることは初体験だった利用者の方も多く大興奮でした！今年も存分に冬を満喫する事が出来たと思います。

多機能型事業所「ポプリ」 松野 裕一



新利用者さん紹介



さとう りなさん

平取養護学校出身
生活介護事業部配属
生年月日 H8・9・3



さの ゆうやさん

苫小牧出身
生活介護事業部配属
生年月日 H3・10・31



ちもと たいがさん

白老出身
就労継続B型事業
パン工場配属
生年月日 H11・8・22

* * * * * 生活介護事業所「愛泉園」 * * * * *

新年会！

皆で鍋を囲み、カラオケで盛り上がりました！



バレンタインデー♥

女性利用者から皆へ手作りチョコをプレゼント♥



節分！

リアルな鬼に皆ビックリ！



中の方は誰で
しょう？？
正解は・・・
ひ・み・つ ♥

ホワイトデー♥

男性利用者から皆へバレンタインのお返し♥



* * * * * 生活介護事業所「みらいえ」 * * * * *

雪まつり見学を満喫！！

2月6日・10日の2日間にわたり2班体制でさっぽろ雪まつりツアーを実施しました。昨年は車内観光がメインになっておりましたが、今年は大通り雪まつり会場にも足を伸ばし大雪像を間近で見学する事が出来ました。会場には海外からも多くの観光客が訪れ、屋食のさっぽろビール園では風情ある建物に多くの海外観光客で賑わい、異国情緒な雰囲気と北海道の冬の風物詩を感じて楽しむ事が出来たのではないかと思います。今後も季節によって様々な景色を見て感じる事の出来る北海道の魅力を盛り込んだ企画立てをしていきたいと思っています。生活介護事業所「みらいえ」 支援係長 一間 新平



ペットボトルキャップ回収について

みらいえではご自宅やGHからペットボトルキャップを回収して洗浄作業を行い、不定期ではありますが、集まった頃をみて社会福祉協議会へ持って行くという取り組みを行っています。みらいえの玄関でいつも皆さんを出迎えてくれたパンダ型のペットボトルキャップ回収箱が老朽化に伴い役目を終える事となりました。それに代わりゲーム感覚で楽しみながら回収出来る回収箱を作成したので是非1つからでも入れに来て下さい！

生活介護事業所「みらいえ」 久保田 将人



青葉会交流会

今年度初めてとなる青葉会交流会を虎杖浜温泉ホテルいずみで開催しました。町内でも評判の良い温泉の泉質とのことで入浴を楽しみにしていた利用者さんも多く、入浴後は汗を拭きながら「気持ちよかった〜♪」と大満足！！入浴後、田中副会長からの挨拶と乾杯を皮切りに、各々食事を楽しんでいます。

毎年恒例の余興では、大町ハウスのよさこい踊りとすすらんハウスの白老サンバ、白老ハウスからは黒田さんと鈴木支援員が仮装しカラオケの披露。少し緊張していましたが本人の頑張りもあり大変盛り上がりっていました。その後も利用者さんのカラオケ大会となり、時間ギリギリまで楽しそうに歌ったり踊ったりしていました。風邪で参加できなかった利用者さんもいましたが、来年は是非全員参加で楽しんでいきたいと思います。

地域生活支援センター「あぶろ」 荒井奈津子



元旦・大晦日一泊旅行in登別

12月31日～1月1日の2日間で利用者11名、職員4名、計15名で年末年始未帰省者1泊旅行へ行ってきました。愛泉園から地域移行後としては初めての試みでした。期待と不安を胸に抱きながら宿泊先の「ゆもと登別」へ向かいました。夕食に懐石料理を堪能し、温泉に入り、夜はおしゃべりが弾み、なかなか眠れなかったようです。翌日は室蘭の「中島神社」へ初詣に向かいました。みんなで『今年も健康で楽しい1年になりますように…』と願いを込めてお参りをしてきました。皆さん今年もよろしくお願ひします。

地域生活支援センター「あぶろ」 副主任支援員 青山弘志



新規入居者紹介

GH「かい」



生井 毅雄さん
H27・4・1



伊藤 孝さん
H27・4・1



山田 樹輝さん
H27・4・1



三上 伸一さん
H27・4・1



鶴田 秀治さん
H27・4・1

*GH「とも」



小野重 拓馬さん
H27・4・1

はじめに白老宏友会は、昭和59年1月に法人認可され、知的障がい入所更生施設「愛泉園」を開設して30年の節目を迎え26年12月3日に創立30周年記念式典・記念講演を開催し、その歩みを刻んだところである。

また、社会福祉法に定めるところの地域福祉の推進という方向を見定め、平成24年2月に入所施設「白老愛泉園」を廃止し、国の基盤整備事業を活用し、用途の変更で内部改修を行い、日中支援事業の多機能型事業所「愛泉園」（生活介護・就労継続B型）の運営に切り替え、生活の場を地域の中に移行し、5棟のケアホームを建設し法人運営の拠点として共生型事業所や短期入所事業の運営を兼ね備えた本部の建設に合わせて、従来のグループホームの整備等を実施し、平成25年4月には、重い障がいを持った方々の地域生活を支えるニーズに応えるべく日中支援の拡充として、新たな生活介護事業所「みらいえ」を事業開始し地域支援の更なる拡充に努めてきた。

本年は、共同生活援助の入所ニーズに応えるべく昨年度新設の「GHのあ」に続き、新たに6名定員（短期入所併設型）「GHかい」を新設し、これによって、白老宏友会は多機能型事業所「ポプリ」（定員60名）、生活介護事業所「愛泉園」（定員20名）、生活介護事業所「みらいえ」（定員40名）、共同生活援助事業所「あぶろ」（定員90名）、共生型事業所「はぁもにぃ」の5つの事業運営に加え、「地域公益活動」の法的義務化が避けられぬ昨今、法人がその将来に備えるべくサービス利用の窓口となるべく指定特定相談事業所「ゆから」を開設することとした。

法人の全体的運営と経営においては、障がい者ニーズに沿った経営プランを持って組織のガバナンス、コンプライアンス意識を充実していくことに努め、制度の理解を深め障がい者総合支援法の目指す「地域社会における共生の実現に向けて」をスタッフ1人一人に根差し、その支援のノウハウを磨き上げ更なる地域生活のQOLに対する支援課題を整理し、多様なニーズと持続的なニーズの対応として各事業所の単年度及び積み立て金の計画的な改善や新設・増設等々の会計予算執行を実施していくものとする。

1、法人運営理念と経営理念

（運営理念）

人と人が尊重し合い 地域の中で普通に暮らせる
安全で安心な生活を支え 自立意識の共生を努める

（経営理念）

サービスの向上に努める
人材の育成に努める
地域との交流に努める
柔軟な事業に努める
情報の発信と共有に努める
自立した経営に努める

2、運営の推進

①財政運用

- ・各事業所の割差異基盤の確立
- ・各種加算及び定員増の活用

②配置職員の確保と育成

- ・サービス管理者の育成
- ・資質向上のための研修機会の提供
- ・資格取得のための支援（休日の付与、費用の補填）

3、平成27年度の重点課題

①新設事業（指定特定相談事業所）の運営

国の計画相談事業の体制整備意向に添い、事業の必要性を理解し、地域公益活動への法人運営の一環としても推進していくものとする。

②コンプライアンスの向上

利用者の権利擁護、各種防止対策委員会、労務管理、その他施設運営においての法令厳守、規範意識の向上を図る。

③マネージメントの向上

・トップマネージメント

利用者ニーズに対応した事業の展開に、管理者の意識統一を図り、事業連携、相互協力を進める。

・タイムマネージメント

法人運営の短期、中期、長期目標を具体化して、実施時間の設定を明確化していく。

④労務管理

・職員間のコミュニケーションを良好なものにし、職員が生き生きとして働きがいのある職場環境作り、支援や介護の質の向上と職員の定着率を高める研修制度の充実を図るものとする。

・キャリアパスなどの職員処遇工場の問題への対応と人事課の考慮を進めていく。

⑤常務理事の継続配置

・事業所数の拡大に伴い、理事長業務も多岐にわたる為、常務理事を配置して理事長の補佐を行い、法人の円滑な運営を図るものとする。職務については、事務決裁規定で定める。

⑥利用者ニーズと事業の選択とその計画

・事業運営と合わせ、地域の共生として地域公益活動の実態に対応すべき体制作りを目指す

地域生活支援センターあぶろ 事業計画

平成26年4月1日より共同生活援助事業に統一された、地域生活支援センターあぶろは、入所更生施設利用者の地域移行及び「マイバリュー」の自立支援を推進してきた経過により、個々の特性に応じた編成により情緒面の更なる安定を図り、小規模住居での生活によるアットホームな暮らしと、その支援を実現してまいりました。

第1支援課は、世話人通勤型のホームが中心で1ヶ所に夜間支援を備えた共同生活住居での支援となります。入居利用者は自らの行動が多く、その希望・要望や抱える諸事情への対応など社会的に発展する場合もあり、それらに伴う対応策、相談支援の訪問や外出、金銭管理・健康管理面の支援、日中活動事業所等との連絡調整、大規模各行事等の実施や支援などに即したサポートを行ってまいります。あぶろ東町センター及び青葉ハウスの住環境整備のため建築を含めた計画を行ってまいります。

地域移行により体系化してきた第2支援課については、これまでの3年の経緯の中で一部体制を見直し、支援度に合わせたサポート及び有効な職員配置を行ってまいります。チーフを中心としたスタッフ体制により、利用者の生活全般を支えてまいります。今年度新設グループホーム「かい」を開設し、より円滑な支援体制を図るべく川治地区（共同生活住居3か所）と東町地区（同4か所）を統括する体制のもと、障がい特性による対応の個別化、広汎化、高齢化による身体機能への配慮、個別対応などの重要性を認識しながら、生活日課・日常生活動作（ADL）支援、保健医療面での支援、毎日の給食提供支援、日中活動事業所との連携や余暇支援など配慮した内容で実践していきます。両課とも必要な内部研修を企画し支援の質の向上を実践していきます。

なお、法人本部の拠点をもち、高齢者・障がい者・児童・地域住民が交流を深め共に生きる活動の場としての「共生型事業所はぁもにぃ」についてはその役割を担い、短期入所事業サービス及び、新規に指定相談支援事業所を立ち上げそれらを併設、その運営を行ってまいります。また、グループホーム「かい」には併設型の短期入所1名を設置、単独型3名とのニーズに則した有効な支援を実施してまいります。

個人が尊重され、安心して、安全な生活が営めることで“生きてる”実感を社会の一員として共生することを理念として実践してまいります。



障がい福祉サービス事業 生活介護事業所 愛泉園 事業計画



事業転換後3年目を迎え、現在定員20名の愛泉園においては、小規模事業所の利点を生かして一人一人を大切にするという共通の認識の元サービスを提供していきたいと考えます。一人一人を大切にすることは、それぞれが歩んできた人生を尊重し、今、そして未来に対して希望を持って生活して行ける勇気と共に支え合える安心や信頼を築いてゆくことなのかと考えます。

事業所本体施設については、平成23年度に内部改修を行っていますが、創設以来30年という歳月を経ているため、老朽化による弊害も見え始めています。また、付帯設備を含めた周囲の環境についても長い歳月を経て現在においては不要物になった木立ちや倒木などの危険性があることから整備が必要となっており、計画的な整備が必要となっています。

以上のことから今年度においては、各活動におけるプログラムの充実を図り、行事等の実施においては、安全性に配慮しながら個人を尊重した計画性あるものを立案し、就労能力のある利用者への就労機会の提供、個人の可能性を引き出すためにアート活動にも力を入れて創造豊かな生活を送れるよう支援します。また、事業所内研修等の実施を計画して人材育成に努め、虐待防止等の一環として強度行動障害支援者研修等への参加機会を提供して、困難なケースへの職員の技術向上を図ることで重度者利用への対応に努めます。

障がい福祉サービス事業 多機能型事業所 ポプリ 事業計画

ポプリが開設して15周年を迎えます。入所更生施設のみの一法人一施設であった白老宏友会にとってポプリは利用者が安心して地域で働くことへのできる場の形成でした。当初30名の仲間達は倍の60名を超え、活動については、働くことを目的とした就労継続支援B型事業と療育や創作活動、軽作業などの生活の豊かさを目指す生活介護事業の多機能型事業所となり現在に至ります。

15年の歳月は、地域の方々に支えられながら、利用者、職員、父母が常に前を見て進んできたことでポプリは大きく成長できたことと感謝しております。この先20年・30年と利用者にとって、地域にとってさらに必要とされるポプリを目指してこの一年を大切にしていきたいと考えます。

就労継続支援B型事業において、昨年リニューアルを行った「ベーカリーショップななかまど」は順調に推移していますが、更なる利用客数の安定維持のために新製品開発や店舗運営に力を注ぎたいと考えます。また、白老の人口減少や超高齢化といった経済環境がこの先飛躍的に改善することは無いと思われる為、ななかまどの、安定維持と平行して新たな授産活動の可能性へ向けて研鑽を続けていきます。

生活介護事業においては、今年度も四季に合わせた創作活動や調理体験、レクリエーションなど創意工夫をしながら進め、利用者個々の日常生活に潤いと張りを持つようチャレンジしていきます。

障がい福祉サービス事業 生活介護事業所 みらいえ

事業開設2年が経過し、今年度はプログラムの成果を十分研鑽し、医療や情緒に配慮した療育的な活動に加え、働く喜びに繋げるべく生産活動も利用者の特性を生かせる範囲で自主生活や外部受注に取り組んでゆく。併せて、生活感を持てるように季節に応じた行事等を定着させ、新たな企画や内容の充実によって新鮮な意識による利用者の心身の拠り所となる支援構築を目指します。また、支援者のスキルアップとして、必要な制度理解や支援技術研修、資格習得への働きかけなど積極的に取り組みます。

運営方針

- ・利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるように、入浴、排泄および食事の介護、創作的活動または生産活動を提供し、適切かつ効果的に行う。
- ・地域及び家族との結びつきを重視した運営を行い、市町村その他の関係機関との連携を図り支援を行う。
- ・総合支援法その他関係法令を遵守する。

支援方針

- ・利用者、家族の思いを大切にした支援
- ・利用者個々の歩みや人格を大切にした支援
- ・小さな変化や声なき声を感じ取り、豊かな未来へつなげる支援

「厚志
ありがとうございました。」
寄付者及び寄贈者

(平成26年12月1日〜平成27年3月31日)

愛泉園家族の会 理事 笹森 照雄様、社会福祉法人 豊浦豊和会 理事長 矢島 勉様、有限会社こんや 紺谷浩光様、清水静子 田上ミドリ様、社会福祉法人 ビバランド 理事長 阿部正宏様、愛らんど 施設長 森岡 一裕様、道知の日胆地方会 会長 沼山 文久様、事業団 太陽の園 総合施設長 前原 孝敏様、苫小牧信用金庫 理事長 中屋 功様、社会福祉法人 静内ベテカリ 理事長 細川 好弘様、社会福祉法人 美々川福祉会 理事長 小林 勲様、白老町内会連合会 佐藤 先様、道知の障がい福祉協会 会長 橋 文也様、社会福祉法人 希望の里 理事長 齋藤 浩一様、大高 宏雄様、社会福祉法人 あぶた福祉会 理事長 菅原 康次様、社会福祉法人 伊達コスモス21 理事長 栗本 茂生様、介護ホームどんぐりの家、社会福祉法人 天寿会 理事長 末永 達仁様、松岡 勝昭様、室蘭市障害者活動支援施設あけぼの、禅照寺 加藤 信雄様、社会福祉法人 富門華会・第二富門華会 施設長 五十嵐 勲様、社会福祉法人 愛誠会 理事長 外館 照司様、社会福祉法人 新冠ほくと園 理事長 前山 佳弘様、特定非営利活動法人 ほのぼの、就労継続支援施設 月とらいおん 施設長 辻 勲様、社会福祉法人ホープフロンティア、すずき歯科 鈴木 晶、白老商業振興会 理事長 久保田 修一様、室蘭信用金庫白老支店 支店長 坂 アトム様、株式会社 白老清掃 代表取締役 丹波 道正様、社会福祉法人 愛光会 理事長 星野 明治様、有限会社 画建築設計 代表取締役 今成 宏道様、白老建設協会 会長 清水 尚昭様、白老手をつなぐ育成会 有田 喜美子、白老手をつなぐ育成会、富士 博次様、白老ロータリークラブ 会長 清水 尚昭様、竹浦日の出町内会、特定非営利活動法人 苫小牧手をつなぐ育成会、社会福祉法人 浦河向陽会 理事長 沢 恒明様、みらいえ会 理事 村上 保幸様、高木商店様・大西榮子様・白老町健康福祉課様・マルカッ様・櫻田雅徳様・太田和重様・眞砂裕

各施設の動向

法人本部

1月5日 年頭所感
2月3日 先進地視察研修 in 大分
3月4日 白老町成年後見人制度講演会
白老町合同企業説明会

愛泉園

12月25日 クリスマス会
1月9日 新年会
2月2日 屋内活動
3月13日 バレンタイン
3月20日 冬季レクリエーション
3月31日 ひな祭り
4月10日 ホワイデー

ボプリ

1月23日 大通スワロウテラス販売
2月2日 後期健康診断
3日 節分豆まき
4日 日胆支援研 支援員研修Ⅱ in 新ひだか町
4日 大通スワロウテラス販売
9日 北海道文教大学2学年3名実習受入
19日 平取養護学校見学
20日 外出活動「ワカサギ釣り」 in ポロト湖
24日 札幌地下歩行空間浸透産品販売
27日 三者面談開始(〜14日)
3月2日 丸井今井北キッチン販売
10日 ホワイデー企画創作活動
13日 大通スワロウテラス販売
19日 とさんこブラザ販売
31日 棚卸

みらいえ

4月1日 新利用者歓迎会
12月17日 クリスマス会・忘年会
1月9日 新年会
13日 詩人の祝い
2月3日 節分
6日 雪祭の見学(10日)
13日 バレンタインイベント
3月3日 ひな祭り
13日 ホワイデーイベント
3月14日 青葉会交流会

あぶろ 第一支援課

3月14日 青葉会交流会

あぶろ 第二支援課

12月下旬 各GHクリスマス会
2月31日 未帰省者一泊旅行 in 登別(〜1月1日)
2月28日 移送サービス運転協力者講習
(〜3月1日)
4月1日 GH「かい」入居開始

各施設の予定

愛泉園

4月 屋内活動
5月 花見
前期健康診断
避難訓練
屋外活動
七夕
屋外調理

ボプリ

5月 水芭蕉見学・桜見学
ヨモギ採取開始
ななかまど店舗23周年記念セール
7月 外出活動「果物狩り」
4月 水芭蕉見学
桜見学
いちご狩り
避難訓練
さくらんぼ狩り
選挙引率
GW帰省対応(〜5月)

みらいえ

4月 水芭蕉見学
桜見学
いちご狩り
避難訓練
さくらんぼ狩り
選挙引率
GW帰省対応(〜5月)

あぶろ 第二支援課

4月12日 選挙引率
4月末 GW帰省対応(〜5月)

新任職員紹介

愛泉園

高橋 佑弥 H 27・1・13 生活支援員

ボプリ

上野 明子 H 27・4・1 職業支援員

みらいえ

吉田 美玲 H 27・2・1 調理員
荻野 浩子 H 27・4・1 生活支援員

あぶろ 第一支援課

平 あけみ H 27・2・12 世話人

あぶろ 第二支援課

北上 淑子 H 27・3・1 地域支援員
池田 厚志 H 27・3・1 地域支援員
小川 尚毅 H 27・3・1 地域支援員
亀井 進也 H 27・4・1 地域支援員

編集後記

あつという間に冬も終わり、春がやって来ました。今回の機関誌では、4月1日より開所されたGH「かい」の紹介や、27年度の新事業である相談支援事業を表紙に飾りました。

また、利用者スポットライトでは、なかまど店舗で働いている利用者さんの活動の様子が掲載されており、その他にも成人者・還暦者の紹介や、各事業所の活動紹介等、盛り沢山な内容となっています。今年度も機関誌は、皆様に一つでも多くの情報を提供していけるよう研鑽を続けていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

機関誌「はあもに」編集委員 松野 裕一

